

ワーキングチーム会議（第5回）の論点Ⅱ

大規模災害時において消防本部、消防団、自主防災組織、婦人防火クラブなどの役割分担をどのように考えるか。それらの連携を強化するために平常時からこういった取組が望まれるか。

【大規模災害発生時の役割分担】

- | | |
|-----------|---|
| ア 消防本部 | 消火、検索・救助、救急（応急手当を含む。）、避難誘導、警戒
・ 火災防ぎよ、人命救助が最優先 |
| イ 消防団 | 消火、検索・救助、応急手当、避難誘導、警戒、避難所支援、その他
・ 津波災害時などでは、水門等の閉鎖業務。避難誘導の比重が大。
・ 検索・救助にあたっては、警察や自衛隊などと連携した活動も多い。
・ 警戒活動の一貫で、交通整理や防犯といった警察業務への協力も。 |
| ウ 自主防災組織 | 初期消火、救助、応急手当、避難誘導・支援、避難所支援
・ 津波災害時では、率先避難、避難の呼びかけや災害時要援護者の避難支援も。
・ 阪神・淡路大震災のように倒壊家屋が多い場合は、救助が重要。
・ 首都直下地震のように火災が同時多発することが想定される場合は、初期消火が重要。 |
| エ 婦人防火クラブ | 初期消火、応急手当、避難誘導・支援、避難所支援 |
| オ ボランティア | 消防本部、消防団のバックアップ |

- 大規模災害時において、消防団詰所の存在は重要（情報交換等）。消防団と自主防災組織等が役割分担し、連携協力することが重要。
- 災害対応が過酷かつ長期化する中で、消防隊（消防職団員）が、消火、救助活動などに専念できるようなバックアップ体制を準備しておくことが重要。
- 企業等の自衛消防組織との連携も重要。